

## 令和 6 年度 「保護者アンケート」の皆様からのご意見より

Q1. イベントが少ない。園の行事に小さい子から参加している園も多い。  
敬老の日のプレゼント、夏まつりやハロウィン好きな服、仮装OKでもいいと思う。  
節分は鬼に来て欲しい。

A. こども園は子ども達が生活する場であり、保育の中心はあくまでも、  
毎日の生活と遊びを通して、子ども達の発達を助けることとなります。  
イベントを多くする事で、楽しいと感じるお子さんもいれば、  
普段の生活の流れ(日課)が崩れ、不安を感じるお子さんもいます。  
当園では、日本に古くから伝わる年中行事を大切に、子ども達に伝えるよう、  
年齢に応じて教育・保育の中に取り入れています。  
行事が、お子さんの負担になることのないように取り入れていますので、  
不足を感じる点におかれましては、ご家庭で楽しんでいただければと思います。

Q2. 連絡帳だけでなく、もう少し園での姿を見られる機会を増やしてほしい。  
1年の中でもどんどん成長する時期だと思うので、  
前期後期で保育参観を設けて欲しい。

A. 乳児クラスは、運動会や表現会などが無いため、園でのお子さんの姿を見たいと  
感じるのかもしれませんが。  
日頃お子さんが園で過ごす様子を保護者の方に少しでも知ってもらえるよう  
玄関掲示板やクラスだより、ドキュメンテーション配信でお伝えしていますが、  
更に工夫できる点がないか検討していきたいと思います。  
その他、スナップ写真販売時でもクラスや子ども達の様子が見ることができます。  
又、ご要望があれば随時お子さんの参観、相談などに対応しますので、  
その旨を職員にお伝えください。

Q3.鉛筆をもって何か書くことにまだ興味を持っていません。

友達と一緒にやれば興味を持ってくれるのであれば少しでも機会を与えて欲しい。

A. 文字を書くことに関しては、前年度も同様のご意見がありましたが、あゆみこども園として大切にしていることをお伝えします。

(以下、昨年度のアンケートの回答より)

文字に関心を持つタイミングには個人差があります。

関心を持っていない時に教えられる事は文字に対して苦手意識を持つことになりかねない為、園では一斉に文字を教える活動は取り入れていません。

あゆみこども園では、子ども達が一斉に同じものを描いたり、作ったりする時間は設けてはいませんが、気持ちが向くように声を掛けたり、様々な難易度の物を準備したりすることで、一人一人に合った経験を重ねられるようにしています。

絵を描くことに関して苦手意識を持つお子さんに対しては、

絵の具や粘土、切り貼りなどの造形活動を通し、

表現することの楽しさを感じられるように工夫しています。

その中で、自分なりのありのままの表現を認めてくれる、

受け入れてくれる存在がいるという安心感がなくてはならないと感じています。

今回、ご意見をいただいた鉛筆への興味に関しても、

大人が描き方や作り方を教えることよりも「子どもが楽しい」と感じた経験から興味を持ち、様々な意欲に繋がると考え、日々の教育・保育の中で子ども達と関わることを大切にしています。

Q4.不審者訓練はしているか

A.毎年、白山警察署の協力を得て、署員の方を迎えて不審者訓練を実施しています。

毎月の献立行事予定表にも掲載しましたが、今年は10月25日(金)に実施しました。

次年度より、保護者の方にもメール配信を通じて、その様子をお知らせしていきたいと思っております。

Q5.月刊絵本は、いらないと思う。すぐ捨てる家もあると聞かし、  
気に入っていない本は、子どもは家で開かないので、資源がもったいなく感じる。  
すぐ捨てちゃう様子を子どもが気づいたら教育上も良くないと思う。  
保育園の貸し出しや図書館で十分だと感じる。  
別途費用も発生しているし、子育て支援の観点からも  
自動的に費用が発生するものは、最小限にとどめる方がいいと思う。

A.あゆみこども園では、身の回りの環境を通して保育することを大切にしています。  
その一つとして身近にあり、繰り返し楽しむことができる絵本や月刊絵本は、  
「色んな絵本に触れて欲しい」という私たち職員の思いから取り入れています。  
自分のシールが貼られた月刊絵本は、みんなと同じであり、  
なおかつ自分だけの絵本であるという喜びになります。  
0.1.2 歳児は毎週末、3.4.5 歳児は月末持ち帰り、  
大好きな保護者と絵本を読みあう時間を持ていただくことで、  
お子さんの成長を園と家庭で共有するきっかけになることを願っています。  
急速に進むデジタル化により、人との関わりが乏しくなりつつある昨今、  
絵本は子どもにとって人との関わり(相互作用)が育つ可能性に満ちた教材です。  
子ども時代によい絵本、物語に出会い、友達と共有・共感しながら  
創造して楽しんだ時間は、これから生きていくための大きな糧になるものと  
信じています。

年齢が上がるにつれ、月刊絵本の内容は、物語が長くなり、  
個々に好みも見られるようになることで、  
保育の中に取り入れられていない月もあります。

今後も園内研修で月刊絵本の活用について学び直し、  
お子さんがこども園時代に楽しんだ思い出の 1 冊となるよう努めたいと思います。  
園の大切な特色として取り組んでいますので、何卒ご理解の程、  
よろしくお願いいたします。

また、ご家庭で必要のない絵本は、捨てるのではなく、  
知り合いや必要な方に譲るなどしてご活用いただけますと幸いです。

Q6.デジタル化、クラスだよりは、紙のお便りの方が持ち物、行事が把握しやすかった。

A. 現在は、小学校でも環境を守る為、SDGS の観点から、アプリでの配信となっています。  
配布物がデジタル配信されることで保護者の手元に届かないということは回避され、欠席連絡もタイムラグなく受け取ることができます。  
保護者の皆様には、日々、何かとお忙しいとは思いますが、毎日「ゆめねっと」の確認をしていただけると幸いです。  
今後は、提出期限のあるおたより等もある為、「何を配布したか」だけでもメール配信するように心がけます。  
お便りの内容の確認をお願いします。  
その他、特に重要なお知らせは、紙ベースでもお渡しできるようにしますので合わせて内容の確認をお願いします。

Q7.先生の名前が分からない。名札とかあるといいかもしれない。

A. 新年度当初は、職員も名札を付けています。  
職員の顔写真、名前、担当の一覧表は、年間を通じてみつばちルーム前に張り出していますが、16:30 前にお迎えの方は、確認しづらかったように思います。  
張り出す場所を玄関スペースに変更するなど工夫、検討をしていきます。

Q8.キャラ物禁止を撤廃して欲しい。色々友達と被るし探すのが大変。

キャラを身に着けたからと言って、保育生活に影響はないと思う。

Q9.園ルールで禁止の、髪に飾りつきヘアゴムを付けられるようにして欲しい。

A. これらのご意見に対しては、あゆみこども園の教育保育理念として大切に取り組んでいることなので、今一度「あゆみこども園のしおり」をご確認の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

## まとめ

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
今年度は、デジタル化に伴いアプリでの配信でアンケートを実施しました。  
回答率は、58%(66世帯/112世帯)と昨年の81、9パーセントを大きく下回りました。  
アンケートの配信を伝えるメールや、回答期限が近づいているなどの  
メールも配信しましたが、期間が決まっていたことで「アンケートに答えそびれました」  
というお声もいただき、課題が残る結果となりました。

回答いただいた皆様からは、暖かいコメントを沢山いただき、  
保護者の皆様が園に対して心を寄せてくださっていることを  
大変嬉しく思っております。

アンケートの結果から、多くの保護者の皆様から高評価をいただいている一方で、  
各項目で「不明」と答える方や様々なご意見をたくさんいただき、  
まだまだ園や子ども達の様子が保護者の皆様に伝わっていないことが伺えました。

あゆみこども園として、「子どもにとって何が最善であるか」を大切に考えながら、  
私たち職員もできる限り園内の様子、子ども達の様子を発信していきます。  
また、それを伝える工夫、少しでも見ていただける工夫、  
また保護者同士の繋がりを持つことができるような機会を考えていきたいと思います。  
何か話したいことなどがあれば、お気軽に職員に「担任と話したい」と  
お声がけください。

皆様からの率直なご意見を真摯に受けとめ、今後、園として改善できる所は努力し、  
大切にしている所、説明不足な所は、その都度丁寧に説明を重ねていきたいと  
考えています。  
更にお気づきの点がございましたら連絡帳やご意見箱などでお知らせください。